

同窓会報

同窓会長挨拶



同窓会会長
鈴木達司

同窓会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

時折、母校を訪れると生徒達の元気な声がどこからともなく聞こえてきます。野球、卓球、陸上、バレーボール、吹奏楽をはじめ毎日厳しい練習に励んでいる部活動やカクメロ、メロッコリ、バイオディーゼル燃料等の調査・研究に励む農業クラブ活動など、生き生きと一生懸命取り組む姿を随所に見ることが出来ます。創立六十周年の折、皆様にご支援いただき母校に寄贈しました投光器、卓球ゲームマシン、マリンバ、パソコン等は、在校生に有効活用され活性化に結びついていると思っております。特に、卓球部男子においては、今年度高等学校総合体育大会・東三河予選で団体、シングルス、ダブルスとすべて優勝という快挙を果たしました。この快挙は、不断の地道な努力が、実を結んだものだと思えます。また、長年卓球部顧問として、ご尽力いただいております同窓の渡辺廣嗣先生は、地道な教育活動を継続して行い他の模範となる者として、平成二十四年度愛知県教育委員会教育表彰を受賞されました。

さて、同窓会をはじめ地域の皆様のご支援により始まったオランダ王国・ウエラントカレッジとの姉妹校派遣研修も今年で十四回目となりました。六月四日より十二名の生徒と二名の教員がオランダに行ってきました。ホームステイをしながら有機農場や販売所の視察をしたり、パン作りやフラワーアレンジメント・インテリアデザインなど幅広い分野の体験的な学習を行うことができました。例年ならば十一月には姉妹校生徒と教員の受け入れがありますが、今年には欧州ソブリン危機の影響で、とても残念なことです。この件につきまして、ウエラントカレッジライスイイク校のペーター校長、W E C

発行
愛知県立渥美農業高等学校
同窓会事務局
TEL 0531-221-0406
FAX 0531-221-6462



本部国際交流部長のアンドレ氏から謝罪と相互派遣を継続していきたいという明確な意思表示がありました。また、要望として、本校でのプログラムの中に日本の文化・生活の体験を通じて日本への興味を引くものにしてほしいとの貴重な意見を伺いました。今後も、世界的な視野と国際感覚を身に付けた地域のリーダーとなる人材の育成を目指して行っていきます。今まで同様、皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

また、昨年度より母校のホームページに同窓会のページを開設しました。この中で同窓会総会報告、本年度役員、本年度行事計画等を皆様にお伝えしていきたいと思っております。また、「同窓会報」もPDFファイルとして掲載していきます。是非、ご覧ください。今後も母校の目ざましい活躍と発展のために同窓生の皆様の格別なご支援とご協力をお願いいたします。

校長挨拶



校長
伴 浩志

同窓生の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は母校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

平成二十三年度をもって、本校に延べ二十八年間御勤務いただき本校教育の充実・発展と、部活動の振興と充実を通して生徒の諸能力の伸長に大きな足跡を残された鈴木和昭前校長先生が御退職になりました。後任として、本校教頭より昇任をいたしました。鈴木和昭先生の校長在任期間の五年間は、教頭として、理想や目標を共有し、御指導・薫陶をいただきました。したがって、本校の教育重点目標は、変わることはありません。

本年度の教育重点目標を以下のように定めました。

- 一 生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせるとともに、進路目標の実現を図る。
- 二 挨拶・身だしなみ・マナーの良い地

域から愛される生徒を育てる。

三部活動への積極的参加と競技力の向上を図る。

生徒一人一人の多様な能力を一層伸ばすために、教育活動のあらゆる機会を捉え、厳しくも温かみのある指導を継続していきます。今後も、同窓生の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

さて、私ごとではありますが、昭和四十九年三月に本校園芸科を卒業いたしました。農学部を卒業後に初任教諭として、安城農林高校で勤務し、その後農業教育共同実習所勤務を経て、平成元年度から(途中、三年間再度の農業教育共同実習所勤務)母校に勤務いたしております。

同窓会では創立五十周年記念事業として、今日では本校の特色ある教育活動になっていきますオランダ王国ウエラントカレッジとの姉妹校交流事業のため、姉妹校協定書の締結、国際交流基金の創設など体験を通じた国際教育を具現化していただきました。また、平成二十二年には創立六十周年記念事業として、国際交流基金への補填、部活動への援助、記念誌の発行等を行っていただきました。こうした記念事業等によって、教育環境の整備や母校歴史の記録、新時代に対応した教育活動への御提言と御支援をいただいできましたことに、あらためて敬意を表しお礼を申し上げます。

西暦二千年の母校創立五十周年を大きな節目とし以降の十二年間を振り返りますと、母校生徒の努力がはつきり見えてきます。東三河で団体優勝を果たした卓球部と野球部、東海大会出場する選手があった陸上部・卓球部、ソフトテニス部ダブルスでは高校総体全国大会に出場しました。またカクメロは時事通信社主催・文科省後援の教育奨励賞を受賞しました。部活動や農業教育活動、学校諸行事の推進や充実には同窓生をはじめ地域の皆様の御支援があつてこそと重ねてお礼を申し上げます。

本校では昨年度にホームページの改善充実を行いました。教育活動や生徒の活躍を掲載しております。ぜひ、後輩の活動の一端を御覧ください。

平成24年度(第14回)

姉妹校派遣研修

- 1 派遣生徒 12名
施設園芸科(2B)
(3B)

西山 忠 堯
岡本 宗之
河合 啓一郎
松井 悠人
鍋木 芙美
川口 真央
佐藤 安佑子
原 昇太
朽名 彩加
田替 智葉
彦坂 真耶
小川 由紀
三浦 孝正
野々山 翔太

2 引率者
教諭 小川 由紀
教諭 三浦 孝正
教諭 野々山 翔太

- 3 派遣期間
6月4日(月)～6月15日(金)

- 4 派遣日程
花市場見学
牧場見学
フラワーアレンジメント
パン作り
有機農場・販売所見学
食品工場見学

オランダ研修を終えて

施設園芸科 二年 西山 忠 堯



私がオランダ派遣に行こうと思った理由はオランダは世界的にも屈指の農業国と聞いていたからです。私は、将来、農業を継ぎたいのでこの研修は良い勉強になると思ったからです。それとコミュニケーション力が付くと思ったからです。行く前は、初めての海外で色々不安でした。ちゃんとコミュニケーションが

とれるか、無事に研修が終われるかなど不安しかありませんでした。しかし、行ってみると毎日新鮮でとても充実していました。2週間があつたという間でした。

私のパートナーはロブという大学生でした。ロブはあまり話しかけてくれなかったので不安でしたが、ホームステイ先に着くと家族の人たちが温かく迎えてくれて不安が吹っ飛びました。

私が、一番気になっていたのは食生活です。体にあう心配でした。朝からチーズやハムは私には、少し厳しかったけど美味しかったので大丈夫でした。オランダは主にパンやチーズやポテト、肉が多かったです。どれも美味しかったです。

また、コミュニケーションでは、派遣が決まってから研修生だけによる英語の勉強会を先生方が設けてくれたおかげで少しは自信が付けられたおかげで少したたかです。それでも伝えるためにジェスチャーや紙に書いてもらって伝えました。伝わった時は嬉しかったです。

私は、オランダであるものを披露しました。それは居合です。私は剣道部に所属しているのですが、せっかくなら日本の武道を披露したいと思つたからです。居合とは剣舞みたいなものです。初めてのことで行く6カ月前から猛練習しましたが、本番はちょっと失敗した所もありましたが無事できました。皆さんにも喜ばれたのでよかったです。

私は、ロブ家には色々お世話になりました。なので、ロブが日本に来た時にこれでもかというくらいにお礼がしたかったのですが今年はこちらの都合で受け入れが無くなったのでとても残念です。いつか私は、ロブと再会し、もっと農業を学ぶためオランダに行きたいと思っております。

オランダ研修を終えて

施設園芸科 三年 岡本 宗之

自分が今回の研修に応募した理由は、オランダという国がどのような国か行ってみてみたかったからです。初めは、安易なきっかけかもしれないが、実際に行ってみると、見るものすべてが新鮮でした。

実は、出発前にオランダの生徒にアクシデントがあり、ホームステイ先がロシエル家からロブ家に変更になりました。突然の変更で、迷惑を掛けるし心配だなあと思つていました。しかし、ロブやロ

ブの家の方々は嫌な顔一つせずに自分を迎え、親切に接してくれました。オランダの人は心が広く、とても嬉しかったです。また、オランダに行く前は、食事のことが一番心配でした。どうしても食べられないようなものや、味付けが自分に合わないものがたくさんあると思つていました。しかし、オランダでの食事はどれもおいしく、特にパンがおいしかったです。オランダ人の体格からすると、高カロリーなものばかり食べているかと考えていました。実際には、朝と昼のご飯はパンです。夜ご飯にはお肉や野菜などとても豪華でしたが、味付けもあまり濃くないのでおいしくいただくことができました。

長いようで、あつという間の研修でした。今では携帯のアプリで翻訳機能があり、それに頼つてばかりでぎこちない会話しかできませんでしたが、こちらにもコミュニケーションをとろうと必死になつていてお互い分かり合えてくると自然と笑顔が増えました。ホームステイ最後の日には、リビングで家族そろってゲームをしたり、いっぱい話をしたりと本当に楽しかったです。

この研修で自分自身は多くのことを学びました。英語はほとんどしゃべれませんが、とてもいい経験になったと思っております。今回は残念ながらオランダからの受け入れはありませんが、またいつか、大人になつてからオランダを訪れロブ家のみんなに再会し、お礼をしたいと思っております。



平成24年度予算書							
収入	813,000円	算額	813,000円	額			
支出	813,000円	算額	813,000円	額			
差引	0円	算高	0円	差			
【収入の部】 (単位:円)							
項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要			
繰越金	37,730	14,145	23,585	平成23年度より			
入会金	775,000	775,000	0	61回生分(155×5,000)			
寄付金	0	0	0				
会報購読費	0	0	0				
雑収入	270	855	△585	預金利息			
合計	813,000	790,000	23,000				
【支出の部】 (単位:円)							
項目	当初予算	補正予算	流用増減	繰越残額	支出済額	残額	摘要
会議費	55,000	0	0	55,000	47,876	7,124	
総会費	10,000	0	0	10,000	5,216	4,784	
役員会議費	45,000	0	0	45,000	42,660	2,340	4回
事務局費	50,000	0	0	50,000	46,288	3,712	
事務用品費	10,000	0	0	10,000	3,278	6,722	
通信費	35,000	0	0	35,000	43,010	△8,010	総会案内
事務局会議費	5,000	0	0	5,000	0	5,000	
事業費	430,000	0	△60,000	370,000	351,056	18,944	
特別事業費	30,000	0	△20,000	10,000	10,000	0	部活動助成金
同窓会費	250,000	0	0	250,000	232,556	17,444	
支那・O・B費	20,000	0	△20,000	0	0	0	
卒業記念品	130,000	0	△20,000	110,000	108,500	1,500	
積立金	200,000	0	100,000	300,000	300,000	0	
基本金積立金	100,000	0	0	100,000	100,000	0	
特別事業積立金	100,000	0	100,000	200,000	200,000	0	
慶弔費	40,000	0	△30,000	10,000	7,247	2,753	2件
予備費	15,000	0	△10,000	5,000	0	5,000	
合計	790,000	0	0	790,000	752,467	37,533	

平成23年度 会計監査報告 通り、平成23年度末までの会計監査を実施致しました結果、関係諸帳簿及び領収書等よく整備されており通帳等との残高照合したところ、適切に処理されていたので御報告致します。
平成24年4月10日
監査 西山司 監査 山下司 監査 坂本和彦

活躍する部活動

バレーボール部

僕達男子バレーボール部は、二年生五人、一年生三人、マネージャー一人の計九人で活動しています。毎週月・火・木曜日は体育館での練習を行い、水・金曜日は屋外で学校の外周などを走り、坂道ダッシュ、筋力トレーニングなどを行っています。部員が少なくなってしまうので、試合形式の練習が思うように出来ません。しかし、指導して下さる先生方や、三年生の先輩方、OBの方々が部活動に参加して下さるおかげで、その時は試合形式の練習をこなすことが出来るので助けられています。一年生部員三人はバレーボール初心者なので、先輩の指導、育成をすることも僕達二年生の大きな役割で、そうすることによって良いチームワークが生まれてくるのだと思います。バレーボールという競技は、チームワークが大変重要で一人のミス全員でカバーし、得点に繋げていくことが勝利に近づく鍵になります。毎日の厳しい練習の積み重ねの中で、個々の技術の向上とともにチームワークを高めていくことが今のチームの課題です。

平成23年度 会計監査報告 通り、平成23年度末までの会計監査を実施致しました結果、関係諸帳簿及び領収書等よく整備されており通帳等との残高照合したところ、適切に処理されていたので御報告致します。
平成24年4月10日
監査 西山司 監査 山下司 監査 坂本和彦



バレーボール部メンバーの集合写真

ここにこだわる試合をし、最後まで諦めずねばり強いバレーをしたいと考えています。

県大会出場の際、OBの方々より練習用ボール、父母会より応援を頂きました。感謝するとともに大切に使用して頂きます。周りの方々に支えられていることを忘れず、練習に励んでいきたいと思えます。大変なことや、辛い時こそ皆で支え合って乗り越え、悔いの残らないように頑張っていきたいと思えます。

食品科学部

私たち、食品科学部は、3年生6名という少ない人数で活動しています。私たちは、全国有数の農業地帯である、田原・豊橋地域にある農業高校として、授業で学んだ食品加工の技術を活かし、田原市の特産品の開発に取り組み、特産品を通して地域の人々との交流や、田原市の活性化を目指して活動しています。また、食品科学科の特徴を活かす。



食品科学部メンバーの集合写真

平成24年度人事異動

職名	氏名	転入、転出先
退職	長崎 隆雄	浦部東高校へ
退職	木原 俊	国府高校へ
退職	鈴木 隆	浦部東高校へ
退職	伊藤 隆	浦部東高校へ
退職	山本 隆	浦部東高校へ
退職	田中 隆	浦部東高校へ
退職	佐藤 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校へ
退職	松本 隆	浦部東高校へ
退職	佐々木 隆	浦部東高校へ
退職	渡辺 隆	浦部東高校へ
退職	森田 隆	浦部東高校へ
退職	山崎 隆	浦部東高校へ
退職	水野 隆	浦部東高校へ
退職	石川 隆	浦部東高校へ
退職	山口 隆	浦部東高校へ
退職	斎藤 隆	浦部東高校へ
退職	高橋 隆	浦部東高校